

第1回練馬区区政改革推進会議
(平成27年6月26日)資料

練馬区の人口の 現状と将来推計

1 人口の現状

- | | |
|---------------|----|
| (1)これまでの人口の推移 | P1 |
| (2)練馬区の特徴① | P2 |
| (3)練馬区の特徴② | P3 |

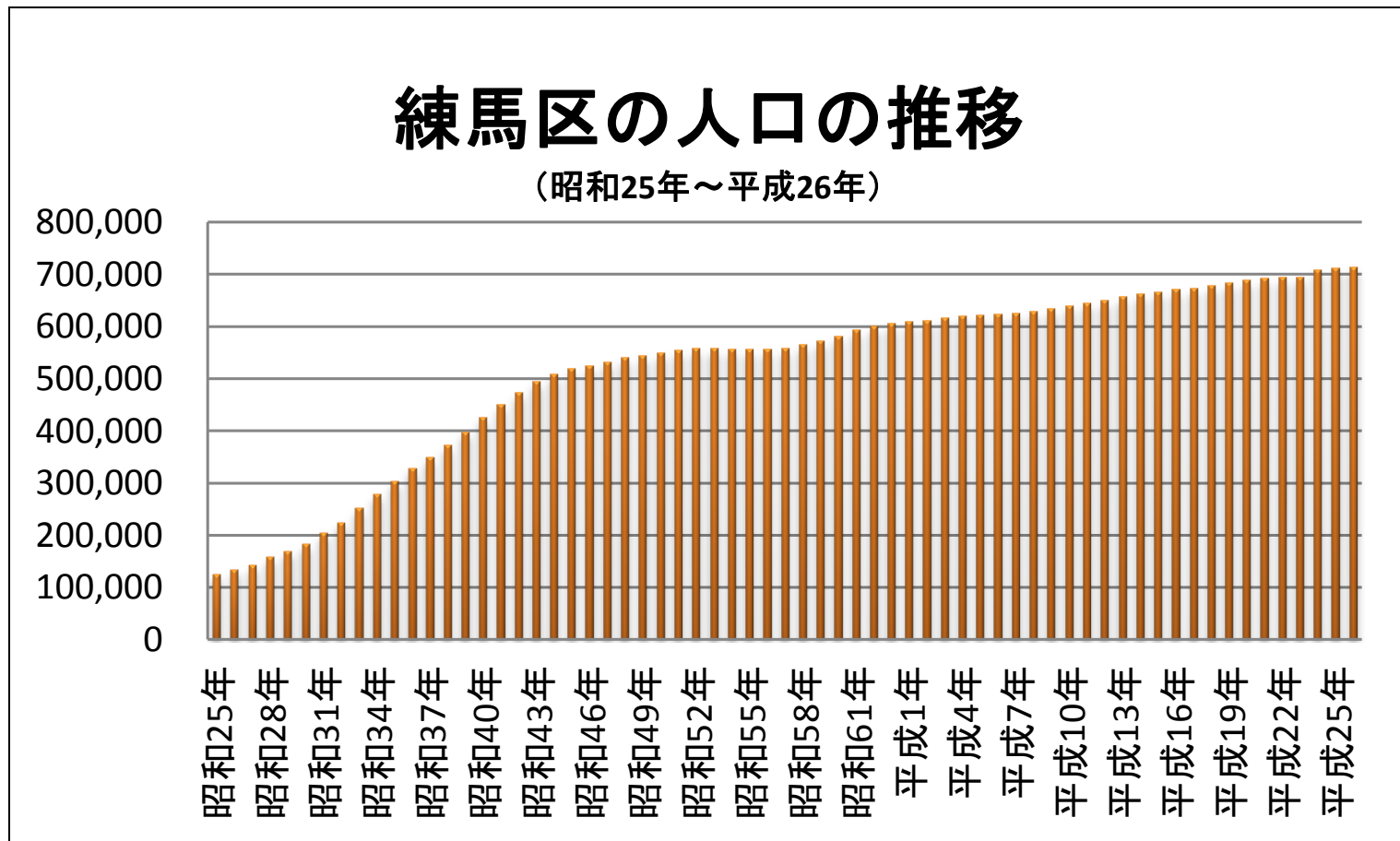
2 人口の将来推計

- | | |
|--------------------|------|
| (1)将来の見通し | P4 |
| (2)年齢3区分で見た人口数の推移 | P5 |
| (3)年齢3区分で見た人口割合の推移 | P6 |
| (4)人口ピラミッドでみた人口の推移 | P8 |
| (5)区内4地域で見た人口数の推移 | P9 |
| (6)区内4地域で見た人口割合の推移 | P10 |
| 【参考資料1～6】 | P11～ |

1 人口の現状

(1)これまでの人口の推移

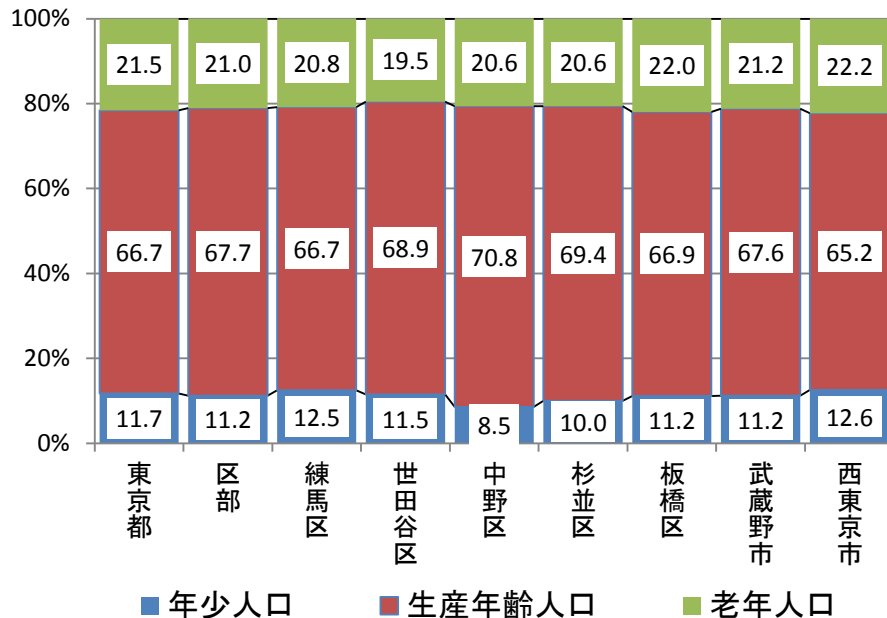
- ◆かつては近郊農村地帯。
- ◆戦後宅地化が進み、ほぼ一貫して人口が増加し、現在71万人に。



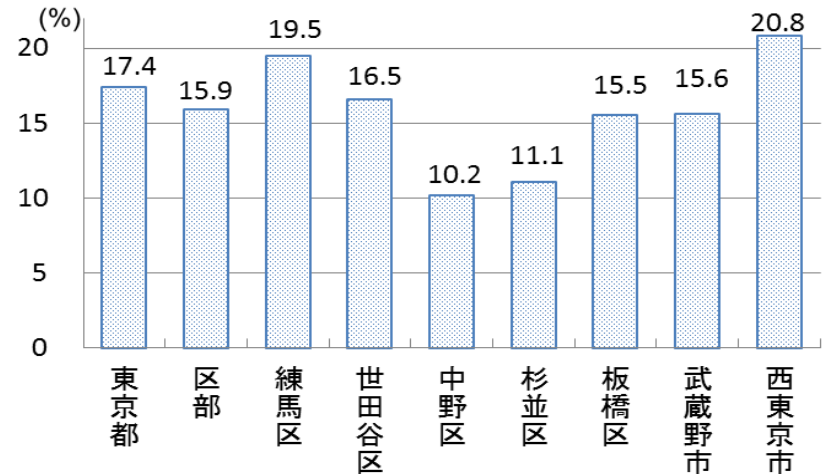
(2) 練馬区の特徴①

- ◆みどり豊かな環境と都心に近い利便性が両立する住宅都市。
- ◆都や区部平均に比較して年少人口比率が高く、ファミリー層が多い。

年代3区分割合（周辺都市比較）



18歳未満世帯員のいる世帯（周辺都市比較）



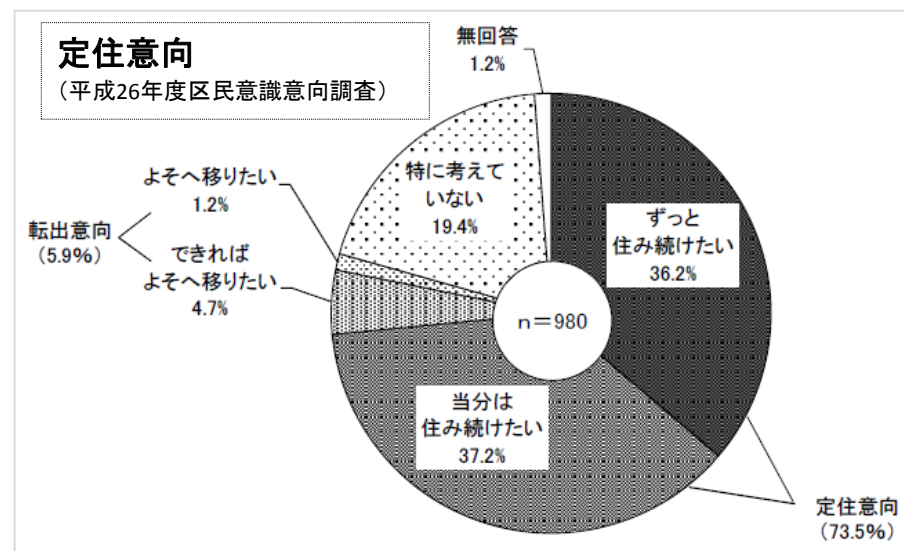
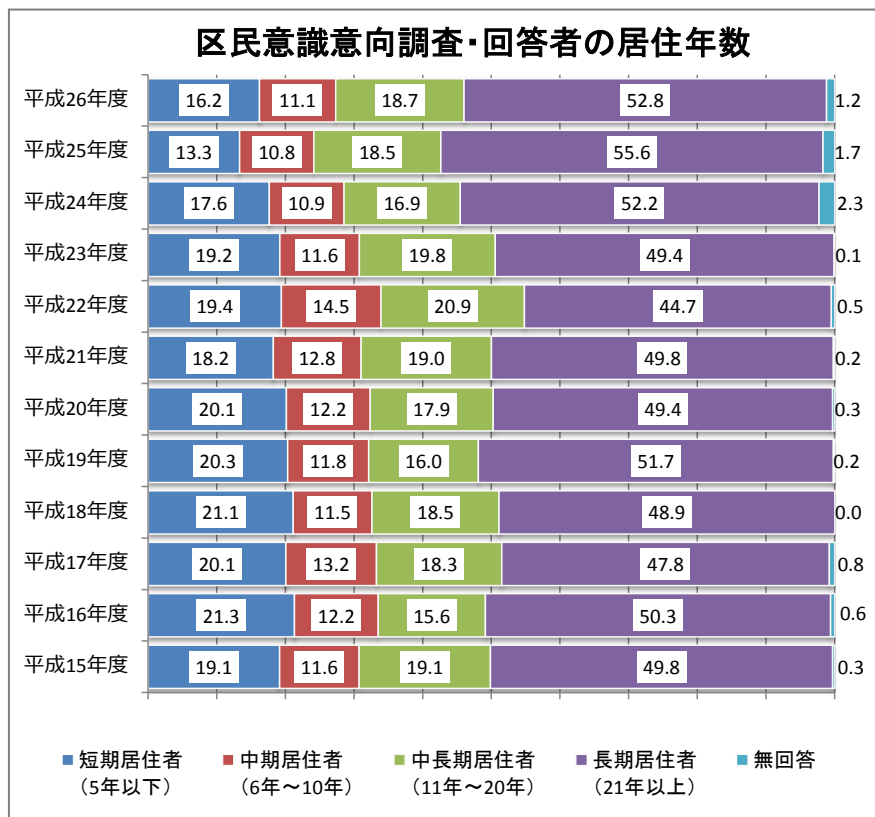
自治体	東京都	区部	練馬区	世田谷区	
世帯数	1,110,203	720,987	65,438	74,199	
自治体	中野区	杉並区	板橋区	武蔵野市	西東京市
世帯数	18,724	33,459	42,292	11,124	18,179

【出典】 東京都統計及び各区市の住民基本台帳(平成26年1月1日現在)

(3) 練馬区の特徴② ～区民意識意向調査から～

◆区内に21年以上在住している住民の割合が、平成15年の49.8%から平成26年には、52.7%に増加。

◆「練馬区に住み続けたい」という定住意向は、平成15年の67.4%から平成26年には73.5%と、6ポイント高くなっている。



2 人口の将来推計

(1) 将来の見通し(10～30年後)

◆人口は70万人台の前半をピークに平成33年(2021年)頃から減少に転じるが、30年後も68万人超と推計

	平成22年 2010年	平成27年 2015年	平成32年 2020年	平成37年 2025年	平成42年 2030年	平成47年 2035年	平成52年 2040年	平成57年 2045年	平成62年 2050年
年少人口 (0～14歳)	89,575	88,479	86,965	85,165	81,753	78,534	76,373	75,102	73,947
生産年齢人口 (15～64歳)	480,899	473,733	473,385	471,915	463,150	447,567	428,682	415,179	404,720
老年人口 (65歳以上)	135,975	152,444	158,620	160,135	165,586	176,174	188,346	193,089	193,021
合計	706,449	714,656	718,970	717,215	710,489	702,275	693,401	683,370	671,688

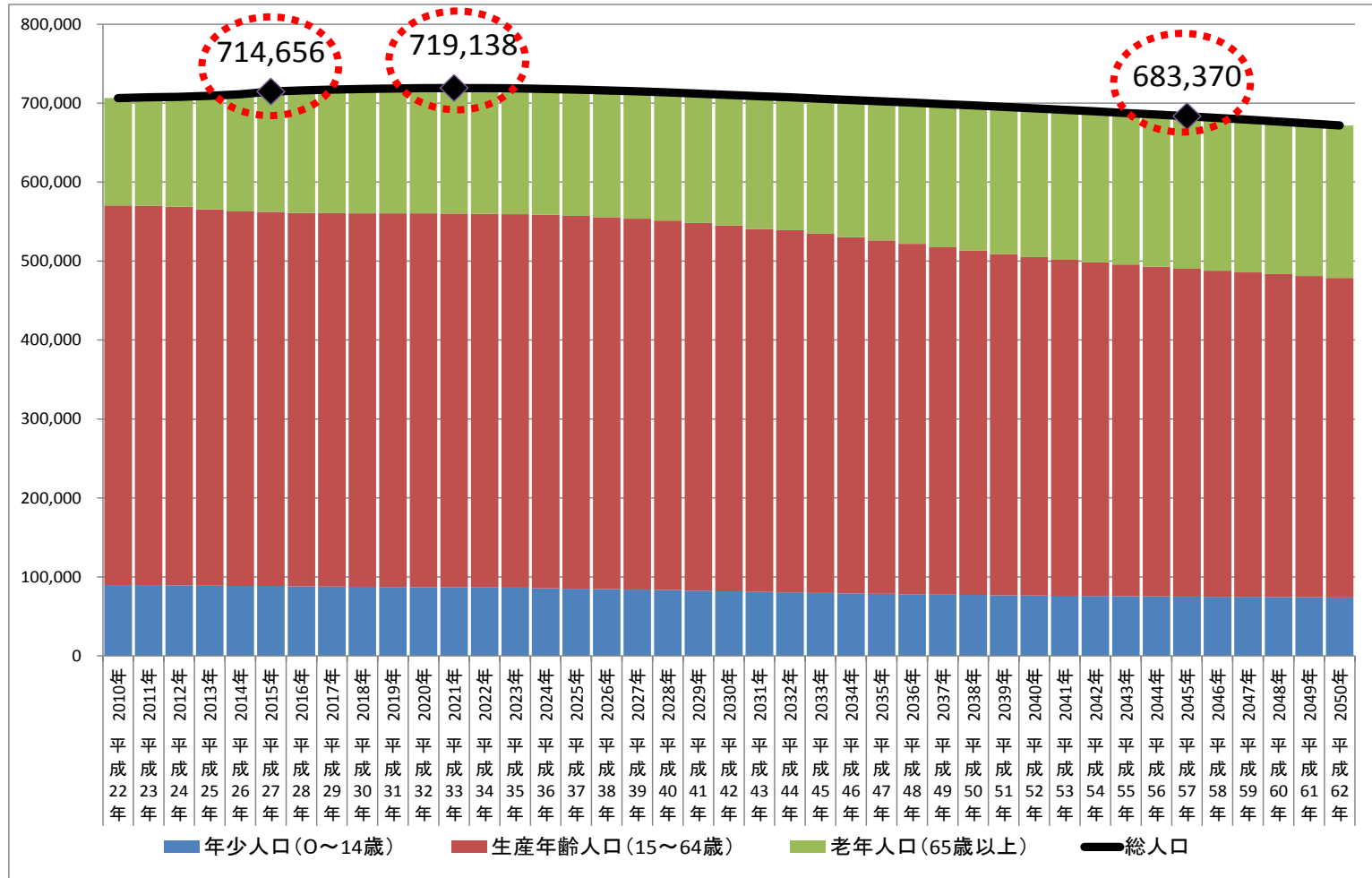
【30年後(平成57年(2045)年)の姿】

平成27年と比較して……

- ・年少人口(0～14歳)は、1万3千人減少し、7万5千人に。
- ・生産年齢人口(15～64歳)は、6万人減少し、41万人に。
- ・老年人口(65歳以上)は、4万人増加し19万人に。

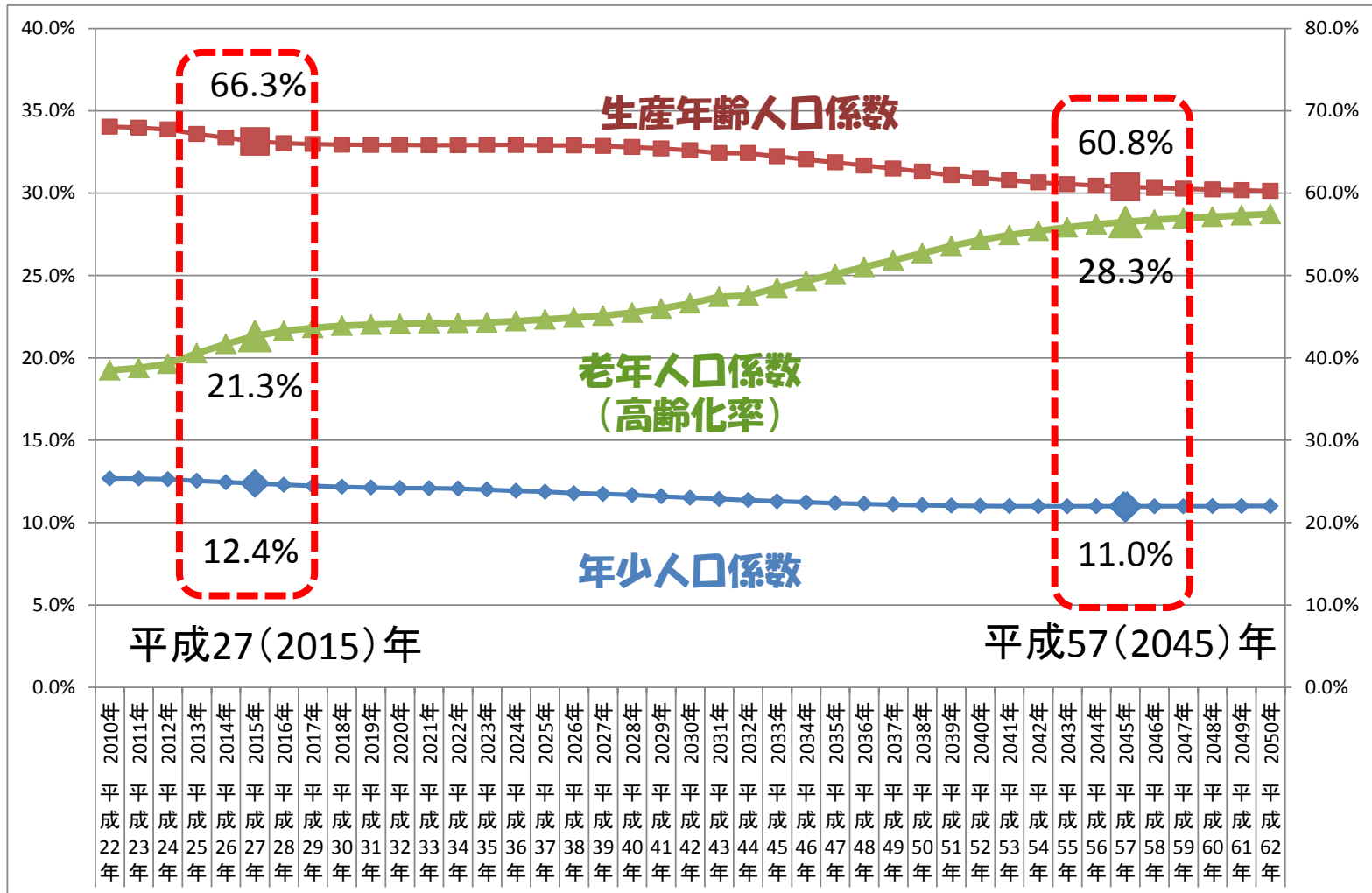
(2) 年齢3区分で見た人口数の推移

◆平成33年頃までは人口増加が続くが、それ以降は減少していくと推計される。



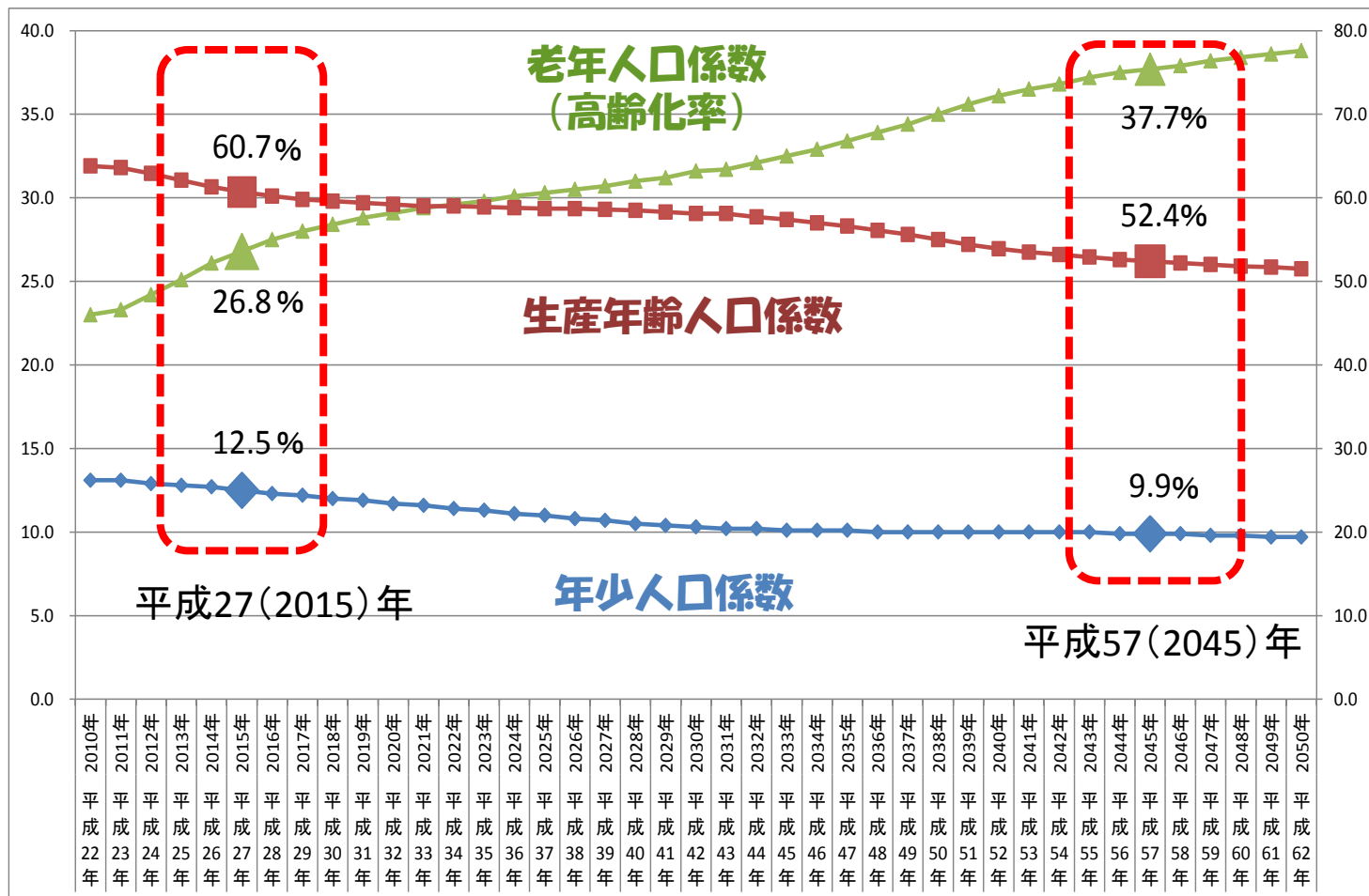
(3) 年齢3区分で見た人口割合の推移

◆高年齢者人口が増大し、今後さらに高齢化が進展していくと推計される。



【参考】日本の全人口の推移と比較してみると……

◆全国的な高齢化のスピードに比べると、練馬区の高齢化は緩やかであることがわかる。



【出典】 国立社会保障・人口問題研究所・日本の将来推計人口(平成24年1月推計)

(4) 人口ピラミッドで見た人口の推移

平成27(2015)年

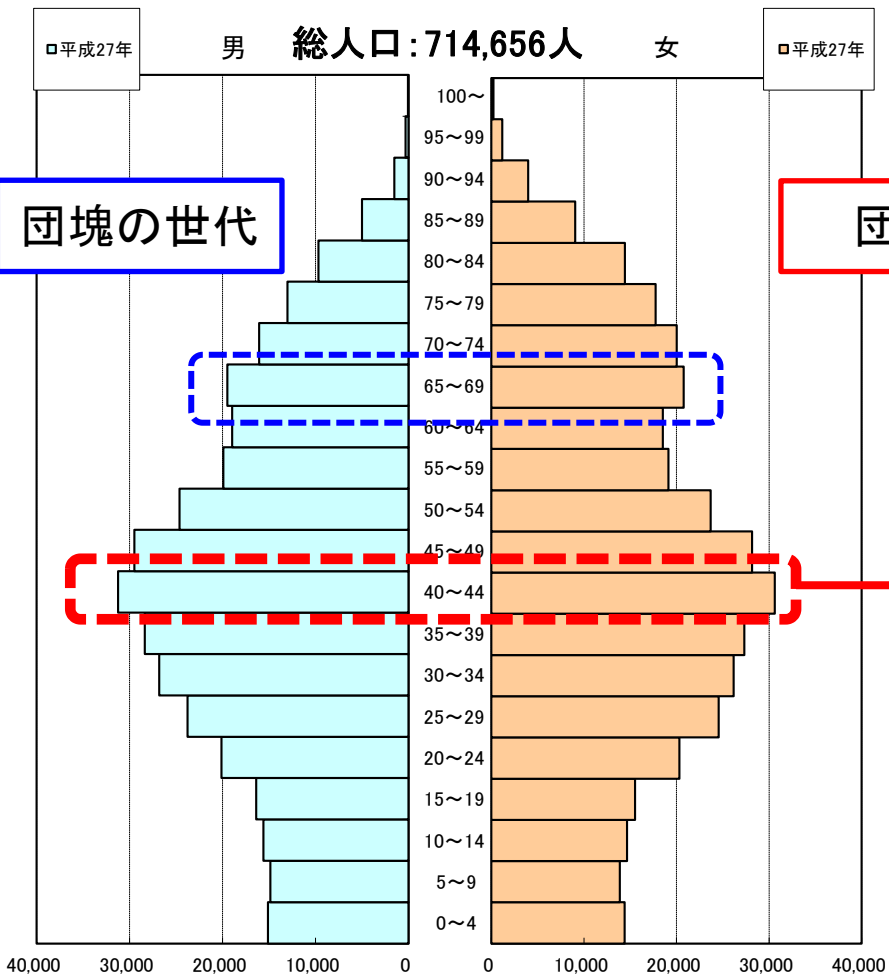
練馬区 (日本人、外国人)

男 総人口: 714,656人 女

□平成27年

□平成27年

団塊の世代



平成57(2045)年

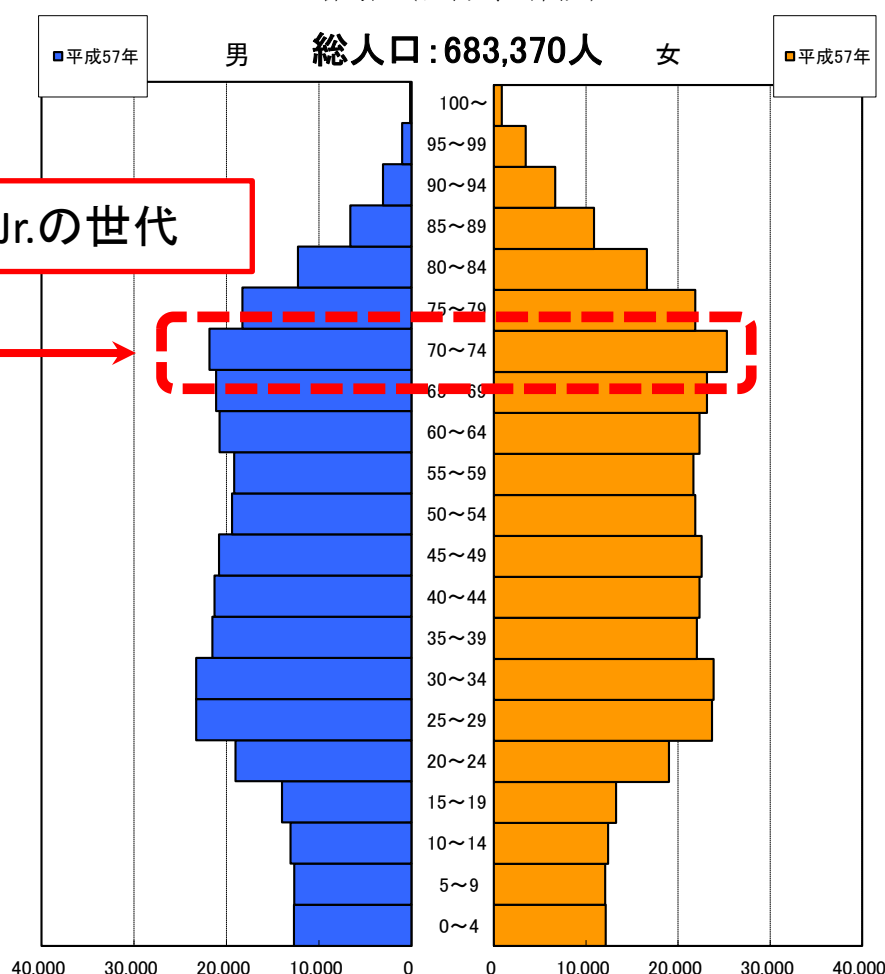
練馬区 (日本人、外国人)

男 総人口: 683,370人 女

■平成57年

■平成57年

団塊Jr.の世代



(5) 区内4地域で見た人口数の推移

大泉地区

平成27(2015)年: **138,264**人



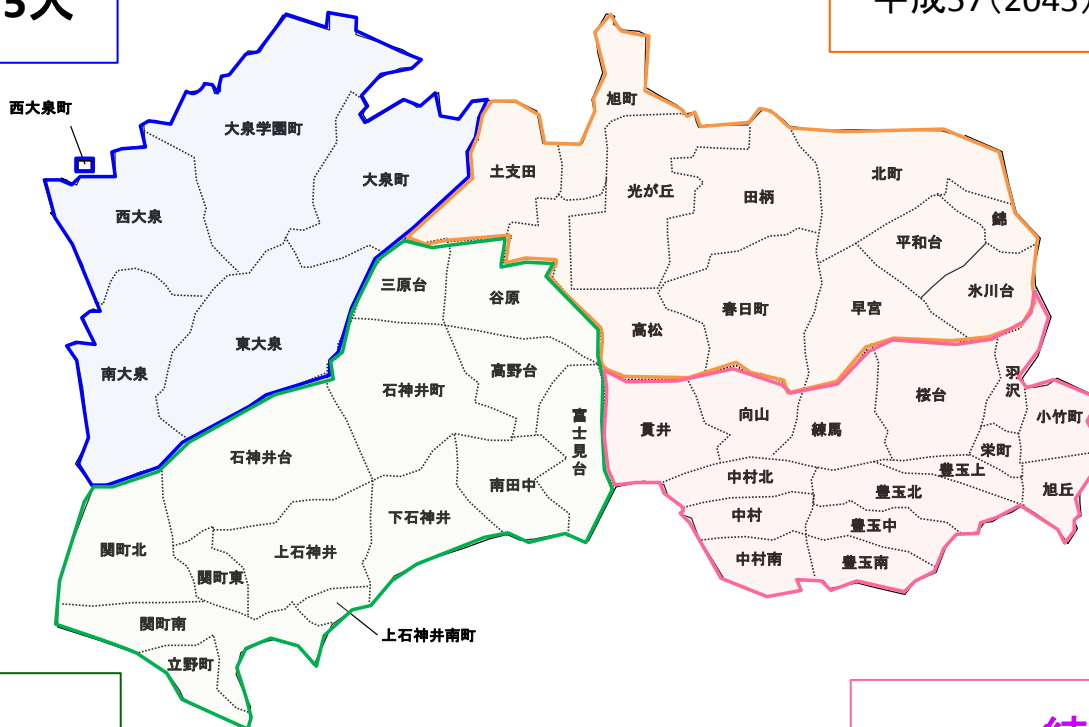
平成57(2045)年: **118,375**人

光が丘地区

平成27(2015)年: **196,901**人



平成57(2045)年: **173,453**人



石神井地区

平成27(2015)年: **201,830**人



平成57(2045)年: **194,014**人

練馬地区

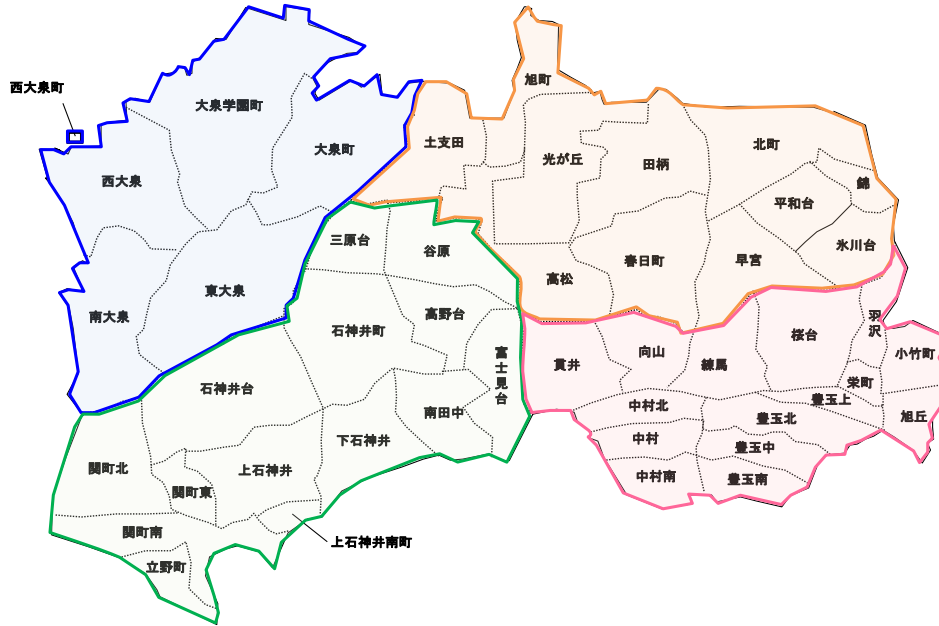
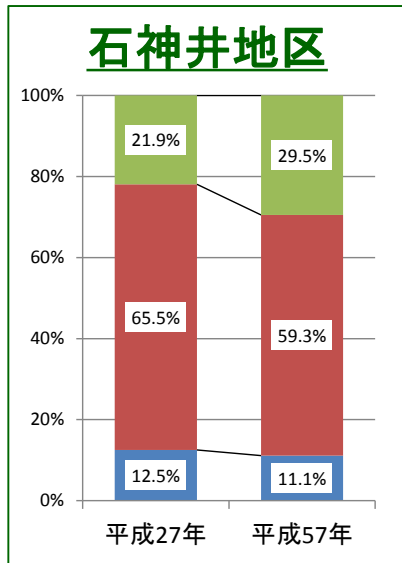
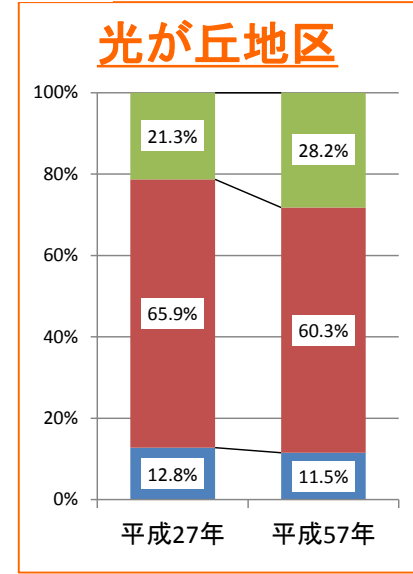
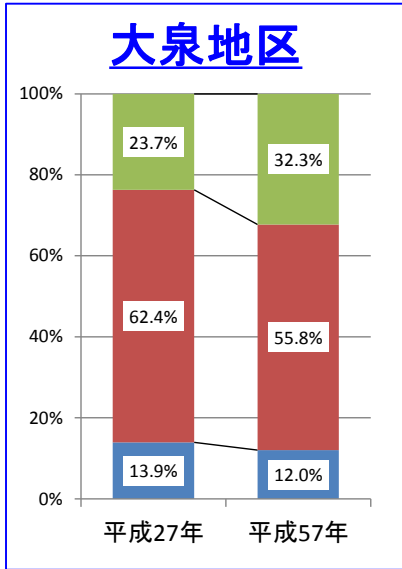
平成27(2015)年: **164,109**人



平成57(2045)年: **177,964**人

(6) 区内4地域で見た人口割合の推移

■ 年少人口(0~14歳) ■ 生産年齢人口(15~64歳) ■ 老年人口(65歳以上)

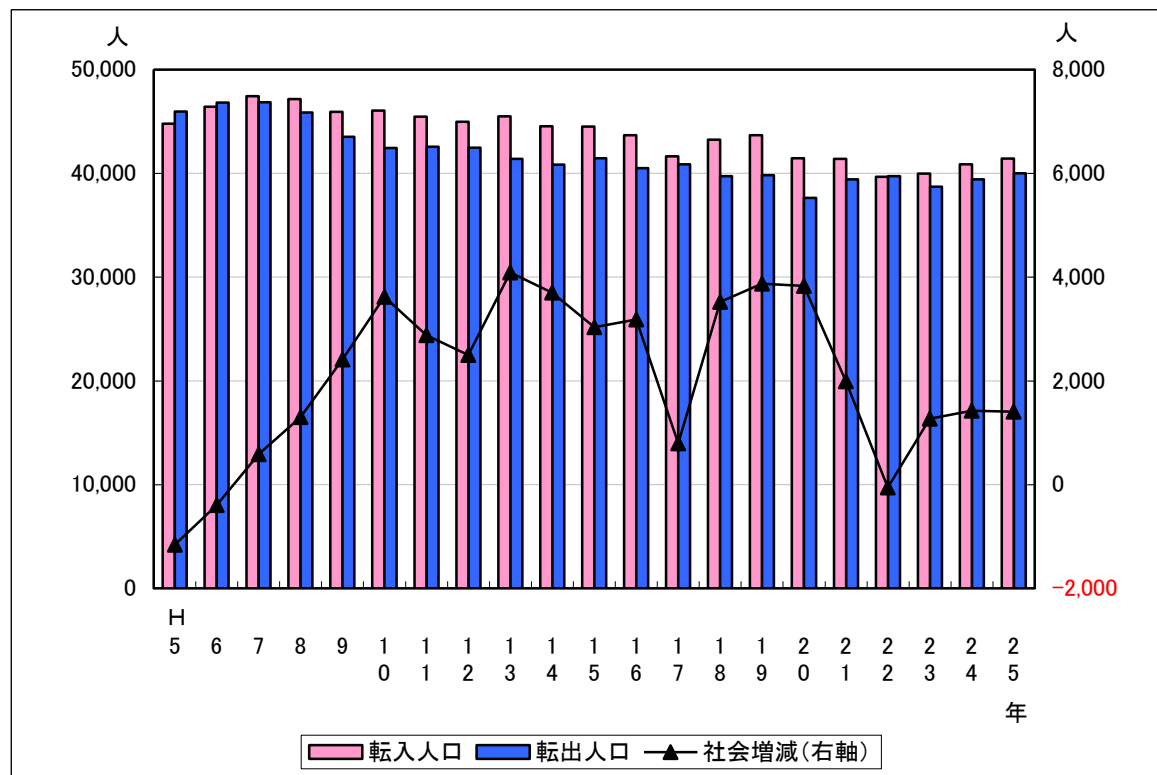


【参考1】人口の社会増減(転入・転出)

- ◆平成5、6年は転出超過であつが、その他の年は平成20年頃まで概ね2,000～4,000人の転入超過が続いて来た。
- ◆平成22年は東日本大震災の影響で転出超過になったとも考えられるが、その後の転入超過は1,200～1,400人であり、平成21年以前と比較すると鈍化している。

図 社会増減

練馬区



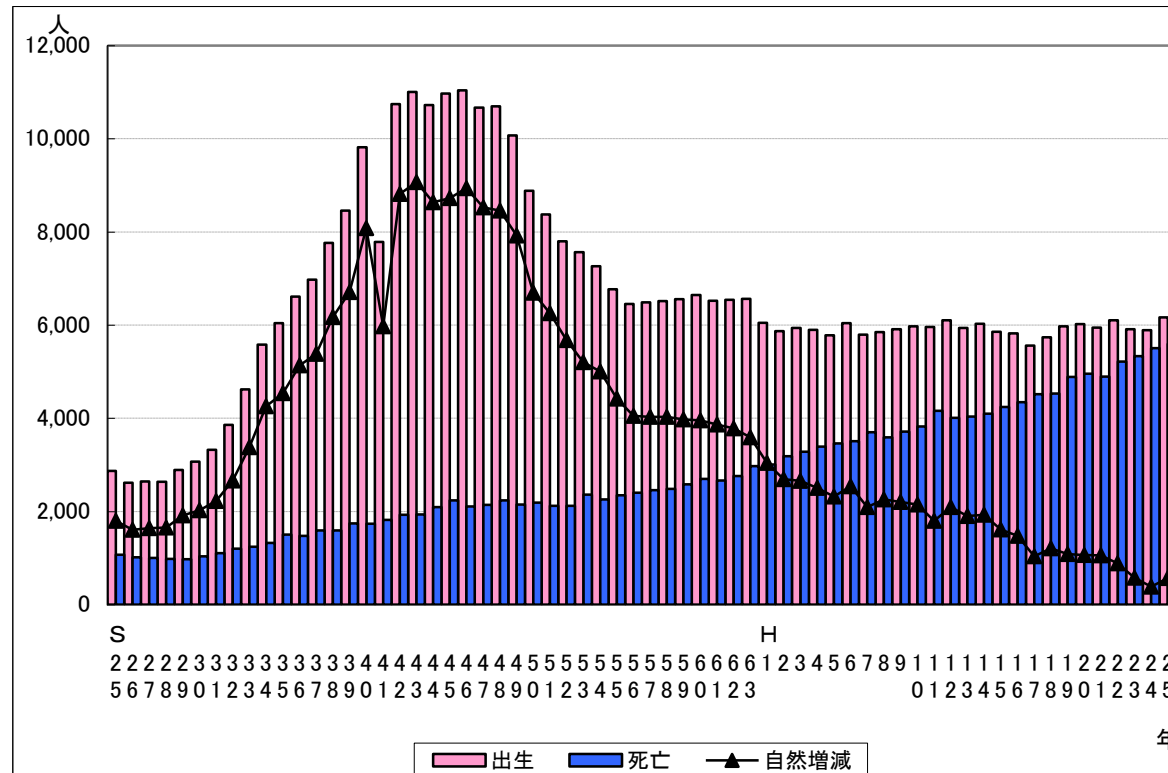
出典:練馬区統計書

【参考2】人口の自然増減(出生・死亡)

- ◆出生数は平成に入ってから6,000人前後と横ばい傾向が続いて来た。一方、死亡数は上昇の一途である。
- ◆練馬区ではこれまでは自然減という事態には至っていないが、いずれ近いうちには自然減という状況が到来するものと考えられる。

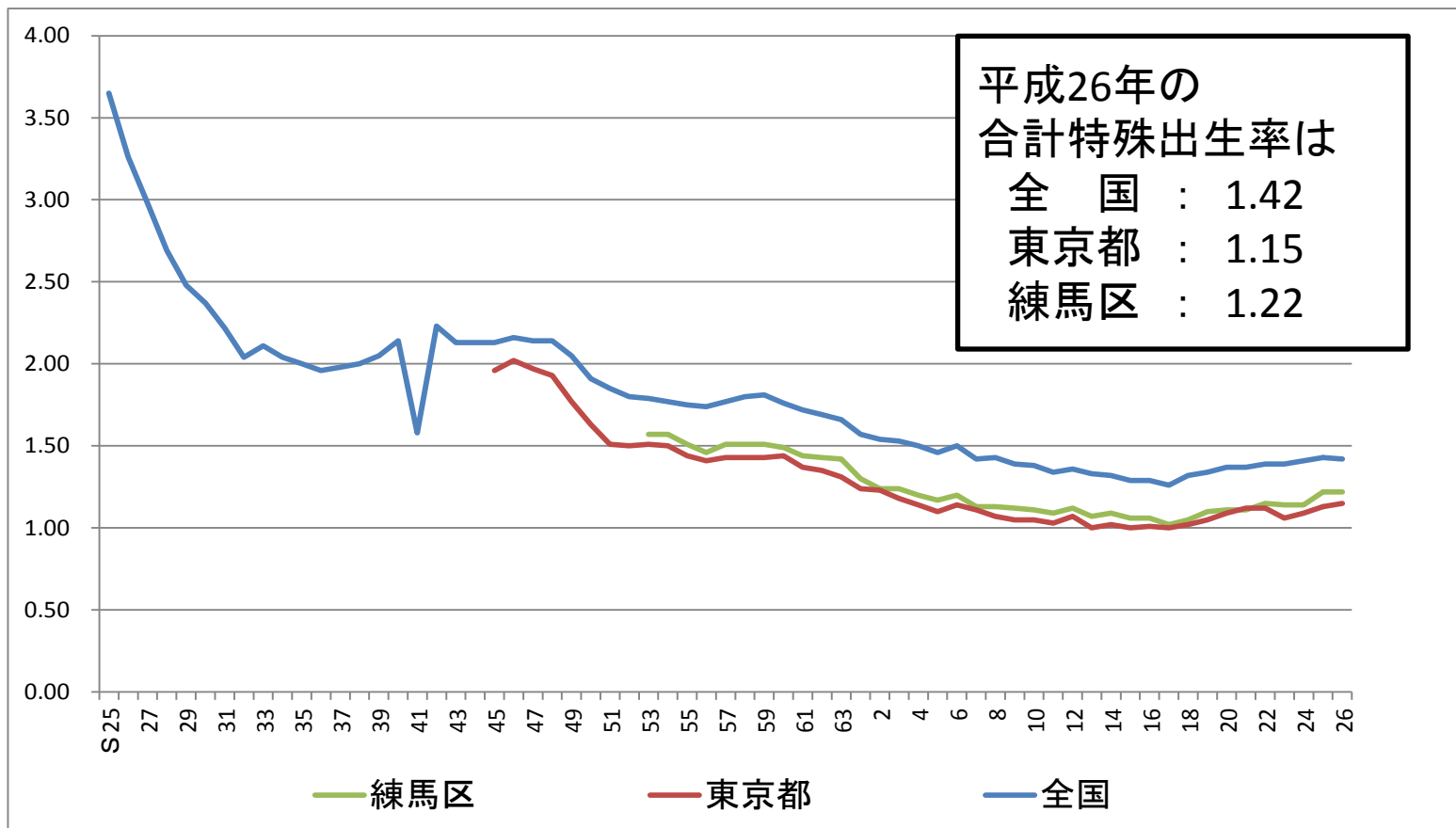
図 自然増減

練馬区



【参考3】合計特殊出生率^(※1)について

◆合計特殊出生率はこのところ上昇傾向であったが、団塊Jr.の世代(9ページ参照)も40歳代に到達し、現状ではほぼピークを迎えたものと考えられる。



出典:人口動態統計

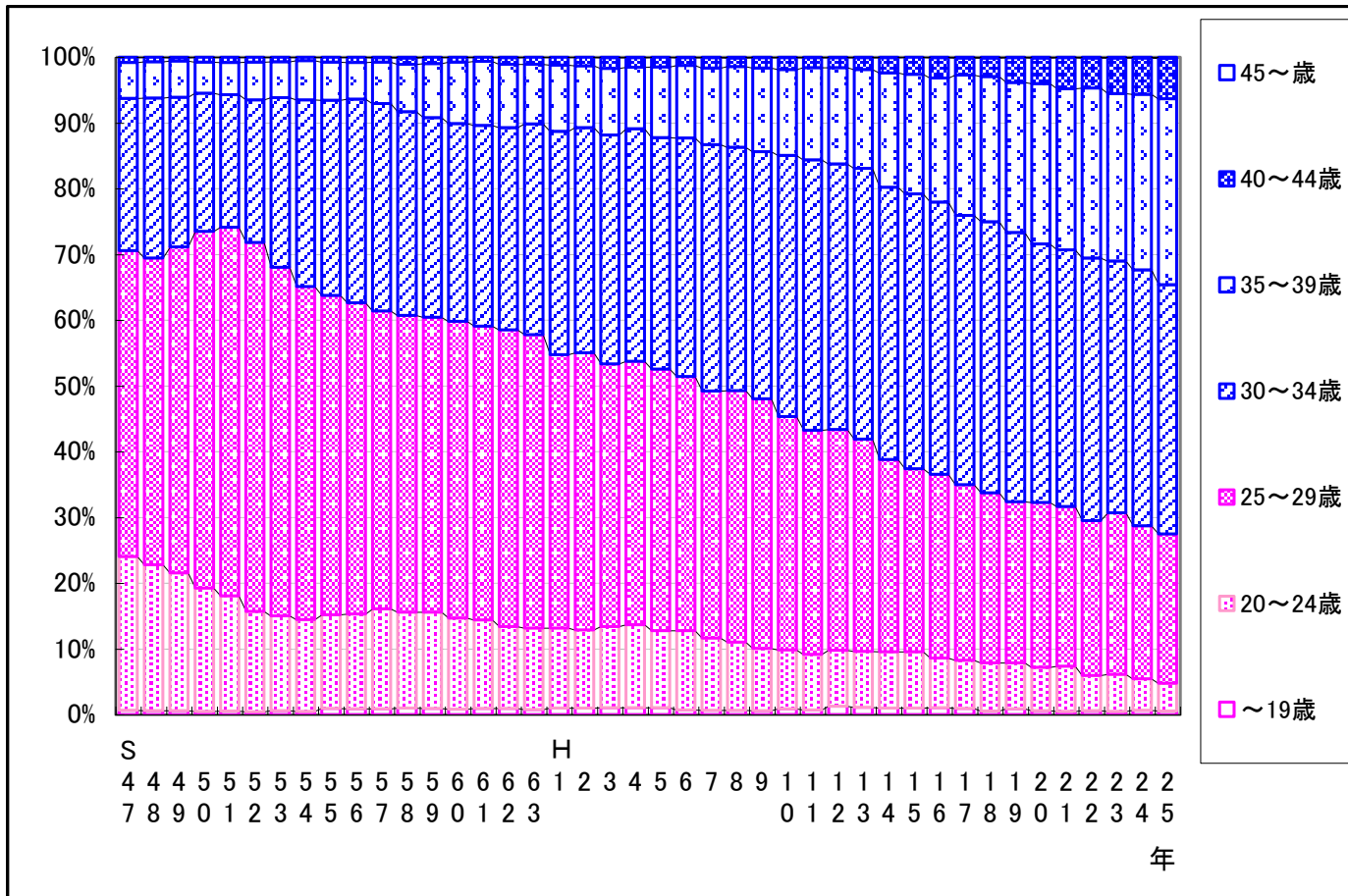
※1 :15~49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもの。一人の女性とその年齢別出生率で一生の間に生むとしたときの子どもの数に相当する。

【参考4】母の年齢階級別の出生（構成比）の推移

- ◆晩産化が進んでおり、35～44歳で出産する割合が増加している。
- ◆しかし、団塊Jr.の世代の出産はピークを過ぎたものと考えられる。

図 出生、母の年齢階級別割合

練馬区

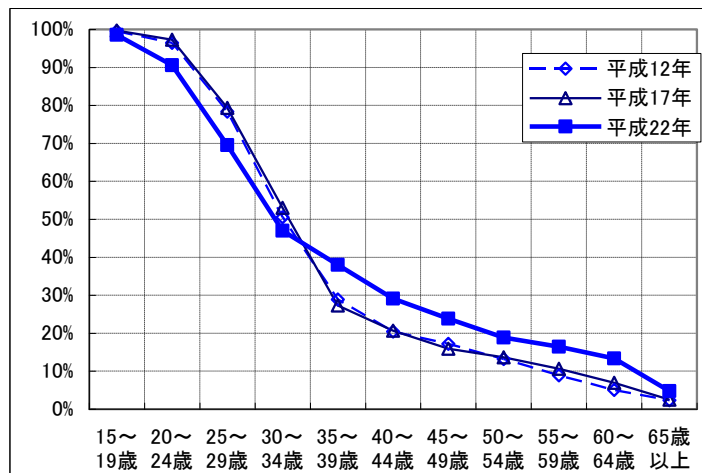


出典：人口動態統計

【参考5】未婚率の推移及び比較(練馬区、東京都、全国)

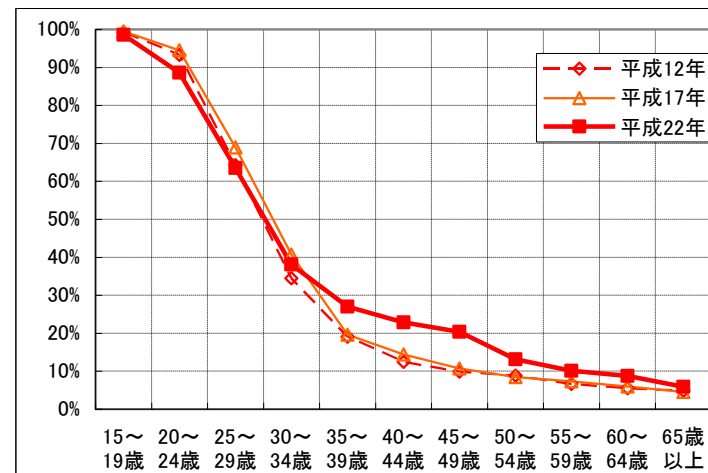
- ◆平成22年は、男女とも35～49歳の未婚率が10ポイント近く上昇し、未婚者の割合が上昇している。
- ◆35～39歳の未婚率は、男性38%、女性27%、40～44歳でもそれぞれ29%、23%となっている。

男性

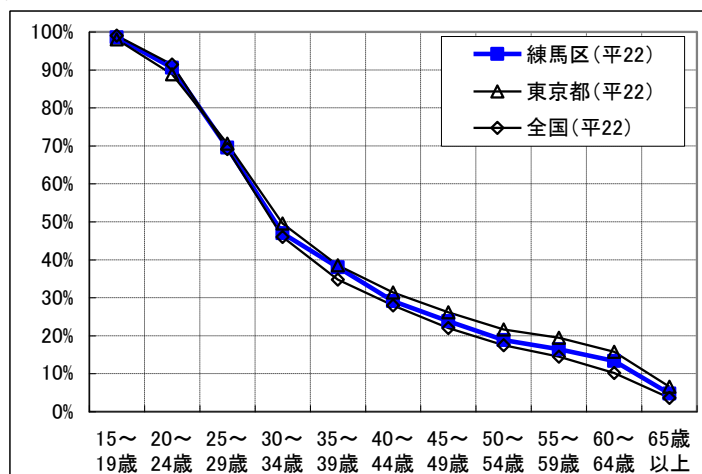


女性

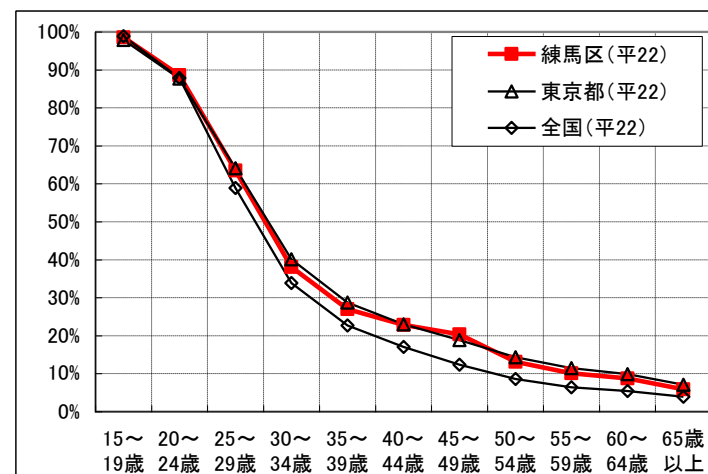
出典: 国勢調査



男性



女性

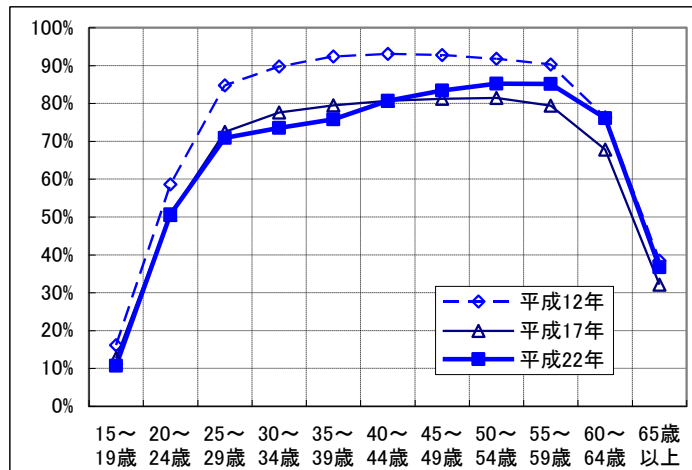


【参考6】労働力率の推移及び比較(練馬区、東京都、全国)

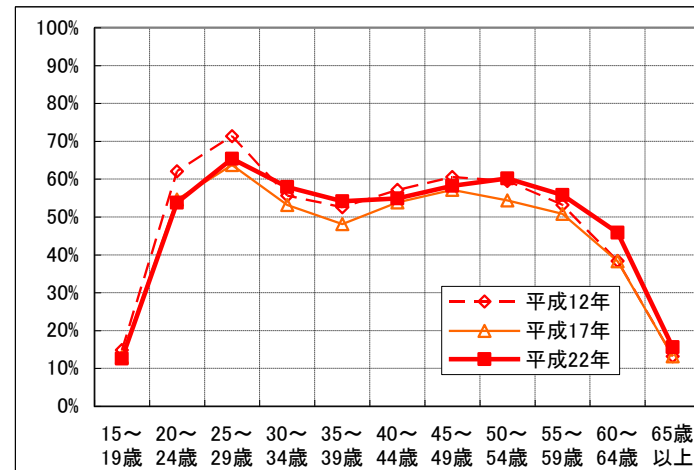
◆女性30～39歳の労働力率は、上昇傾向にあり、M字型の底が高くなってきている。

出典：国勢調査

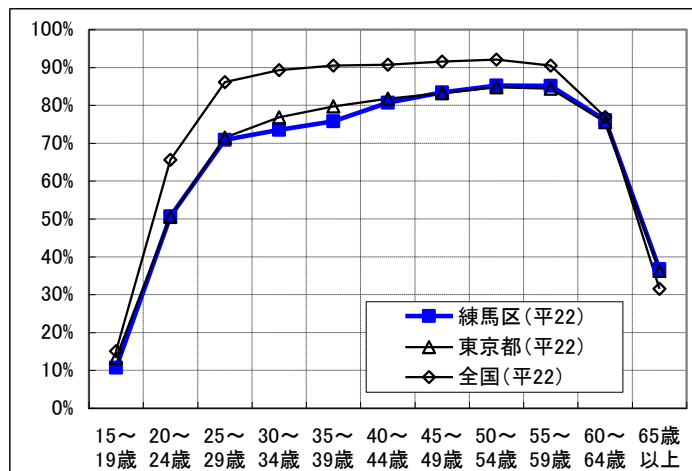
男性



女性



男性



女性

